

### 近畿部会準備会この1年と今後の展望

本号に「この1年」を書くにあたって、いまだに「準備会」のシippoをつけなければならないことを残念に思います。しかし、その後も会員は着実に増え、この会が必要なことが切実に感じられ、会員の熱意にささえられて3年目の活動に入りました。(機関会員7、個人会員44)。

これまでの研究会は、どちらかというところでの施設の事例報告とそこでの問題点を討議してきました。個人レベルで解決される問題については、こういう情報交換は大いに役立ちます。しかし、個人会員が主となっているこの会では組織・施設としての問題については討議はしてもそれを持ちかえて実施に向けることが出来ません。それが準備会の限界とも言えるでしょう。

この1年の研究会開催は下表のとおり、また『準備会報告』はNo.5を'91.8.1に、No.6は1992.3.18に『準備会ニュース』と改称して発行しました。

最近では近畿の府県での理解も得られてきましたので、1992年度はなんとか正式の近畿部会としての骨組みはできる見通しがつき、喜んでいます。しかし本誌1号でも述べたように全史料協の会員でなくても部会に参加できるようなシステムをつくってほしいと希望しています。近畿部会準備会会員のうち全史料協会員は14で、残りの人は条件が許せば会員となろうとする人ですから、部会員として

参加できるよう理事会なり総会なりで認めていってほしいと願っています。

なお、本年度の活動予定と運営委員をつぎのとおり決定しました。

#### 運営委員

田中万里子 (池田市教育委員会)  
田辺 敏子 (西宮市行政課資料室)  
辻川 敦 (尼崎市地域研究史料館)  
富井 康夫 (高槻市文書課)  
中田 佳子 (羽曳野市史編纂室)

#### 運営委員・事務局

大西 愛 (大阪府公文書館)  
金山 正子 ( )

#### 活動計画

テーマ研究の小グループをつくり、今までの例会に加えて随時テーマ研究会を開催する。

#### \* 公文書研究・保存グループ

担当者 (田辺・金山)

#### \* 近世文書整理研究グループ

吉井 (元興寺文化財研究所)

#### \* 読書会 (富井・田中)

#### 定例会 (2ヵ月に1回)

1992.5.21 講演会

山中永之佑氏 (追手門学院大学教授)

芝村篤樹氏 (桃山学院大学助教授)

1992.7 関東地区等との交流会

9 公文書についての研究会

11 近世文書についての研究会

12 全史料協大会・ICA報告会

1993.2 近畿における大学アーカイブズについての報告

大阪府公文書館 大西 愛

#### 近畿部会準備会研究会内容 第11回～13回

回数	年月日	報告題名	報告者	会場
11	1990.7.13 (土)	尼崎市立地域研究史料館の設置経過と運営	中村 光夫	於、同史料館 26名
12	1991.10.19 (土)	神戸市立文書館の設立経過と資料収集状況について	伊形 啓一	於、同文書館 22名
13	1990.12.14 (土)	全史料協第17回徳島大会報告	中村、原、清水、大西、藤川 於、大阪府公文書館	16名
*	1992.2.26 (水)	1992年度運営総会 [大阪府公文書館の文書劣化調査計画]	大西、金山他 於、大阪府公文書館	33名